

北東アジア地域自治体連合環境分科委員会  
活動報告書（2020年）



日本国富山県  
(2021年3月)

## 目 次

1	2020年個別プロジェクトの実施状況	1
(1)	提案された個別プロジェクト	1
(2)	個別プロジェクトへの参加状況	1
(3)	各個別プロジェクトの実施状況	2
2	2021年個別プロジェクトの提案状況・参加意向	7
(1)	提案された個別プロジェクト	7
(2)	各個別プロジェクトの提案内容	7
(3)	個別プロジェクトへの参加意向	18
3	次期コーディネート自治体就任希望調査の結果	19
4	環境分科委員会の活動計画（2021年）	19

# 1 2020年個別プロジェクトの実施状況

## (1) 提案された個別プロジェクト

プロジェクト名	提案自治体	備考
北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	富山県	中止
漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県	
北東アジア地域環境ポスター展	忠清南道	中止
海岸生物調査	富山県	
貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	忠清南道	中止
フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州	

※ 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業、北東アジア地域環境ポスター展、貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラムは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

## (2) 個別プロジェクトへの参加状況 (◎：提案自治体、○：参加自治体、△：中止された個別プロジェクトへの参加意向自治体)

プロジェクト		環境活動リーダー	漂着物※ <sup>2</sup>	ポスター展	海岸生物調査	ブルーカーボン	フォトコンテスト
中国	山西省	△	—	—	—	—	—
	遼寧省	△	—	—	—	—	—
日本	山形県	—	○S	—	—	—	—
	富山県	◎	◎	△	◎	△	○
	石川県	—	○S	—	○	—	—
	福井県	—	○S	—	○	—	—
	京都府	—	○S	—	—	—	—
	鳥取県	—	○S	—	○	—	—
	島根県	—	○S	—	—	—	—
	山口県	—	○S	—	—	—	—
	佐賀県	—	○S	—	—	—	—
	長崎県	—	○S	—	—	—	—
韓国	江原道	△	○S	△	—	—	—
	忠清南道	△	—	◎	—	◎	—
	慶尚南道	△	○S	—	—	—	—
ロシア	沿海地方	△	○S	△	○	△	○
	ハバロフスク地方	△	—	△	—	△	○
	トムスク州	△	—	△	—	—	◎
	イルクーツク州	—	—	—	—	—	○
	ケメロヴォ州	—	—	—	—	—	○
参加自治体数 (参加意向自治体数)		( 4 か国 9 自治体 )	3 か国 13 自治体	( 3 か国 6 自治体 )	2 か国 5 自治体	( 3 か国 4 自治体 )	2 か国 6 自治体

※1 下線の自治体：北東アジア地域自治体連合（NEAR）の非会員自治体

※2 ○S：漂着物調査活動と漂着物アート制作のうち前者のみ実施

### (3) 各個別プロジェクトの実施状況

#### 【漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業】

##### 1 趣旨、目的

海岸漂着物の調査活動に加え、環日本海地域の沿岸自治体での取組みも含めた発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子どもや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

##### 2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査活動及び発生抑制対策に関する学習会を行う。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行う。

###### (1) 漂着物調査活動

###### ア 実施時期

2020年6月～11月（原則として秋季に実施）

###### イ 実施場所

参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域

###### ウ 実施方法

- ・ 調査は参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て実施
- ・ 調査活動と合わせて海洋ごみの発生抑制に関する学習会を実施
- ・ 調査結果は富山県（公益財団法人環日本海環境協力センター（NPEC））が取りまとめ
- ・ 2018年から調査項目にマイクロプラスチック（直径5mm以下のプラスチックごみ）を追加（簡易調査にて実施）

###### エ 参加自治体

3か国13自治体

日 本：山形県、富山県、石川県、福井県、京都府、鳥取県、島根県、山口県、佐賀県、長崎県

韓 国：江原道、慶尚南道

ロシア：沿海地方

###### オ 年間計画

5月、7月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等

5月～ 準備、事業実施

###### カ その他



漂着物調査活動の様子（富山県）

(2) 漂着物アート制作

ア 実施時期

通年

イ 実施場所

参加自治体内の会場等

ウ 実施方法

富山県が提供する手引書等も参考にして、参加自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

エ 参加自治体

日本：富山県

オ 年間計画

5月、7月 プロジェクト参加案内、マニュアル・調査票の送付等  
5月～ 準備、事業実施

カ その他



漂着物アート制作の様子（富山県）

## 【海岸生物調査】

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、市民・子どもたちに海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2020年7月～9月

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸

#### (3) 実施方法

- ・ NPECが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と結果を共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関、NGO/NPOや専門家が主体となり、市民・子どもたちの参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、NPECが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

#### (4) 参加自治体

2か国5自治体

日 本：富山県、石川県、福井県、鳥取県

ロシア：沿海地方

#### (5) 年間計画

5月～7月：参加者の募集

7月～9月：調査の実施

#### (6) その他



調査の様子（富山県）

## 【フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】

### 1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2020年6月22日～12月20日

#### (2) 実施場所

トムスク州

#### (3) 実施方法

- ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集
- ② 参加自治体が応募写真をトムスク州又はNPECに送付
- ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰
- ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書を参加自治体に送付
- ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付
- ⑥ トムスク州がSNSで優秀作品を紹介

#### (4) 参加自治体

2か国6自治体

日本 : 富山県

ロシア : 沿海地方、ハバロフスク地方、トムスク州、イルクーツク州、ケメロヴォ州

※ 応募作品数 : 115点 (2020年11月23日時点)

(内訳)

植林行動・清掃活動等 : 39点

命の泉 (きれいな水環境) : 54点

エコライフ (環境に配慮した生活) : 22点

#### (5) 年間計画

6月22日～11月1日 参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り  
11月 トムスク州による写真の審査  
12月 トムスク州から参加自治体への賞状等の送付、SNSでの優秀作品の掲載

#### (6) その他

応募作品が掲載されたトムスク州環境保護・資源利用委員会のSNS (VKontakte)  
[https://vk.com/album-126197212\\_275617592](https://vk.com/album-126197212_275617592)



応募作品（抜粋）



## 2 2021年個別プロジェクトの提案状況・参加意向

### (1) 提案された個別プロジェクト

プロジェクト名	提案自治体
北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	富山県
漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
北東アジア地域環境ポスター展	忠清南道
海岸生物調査	富山県
貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	忠清南道
フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」	トムスク州

### (2) 各個別プロジェクトの提案内容

#### 【北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業】

##### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の青少年（中学生、高校生）を対象に、SDGs・環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等を通じて相互の友好と理解を促進し、持続可能な社会づくりに向けてグローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成する。

##### 2 事業内容

###### (1) 実施時期

2021年8月頃

###### (2) 実施場所

富山県

###### (3) 実施方法

- ・ 1年ごとに日中韓露の自治体が持ち回りで実施
- ・ 実施自治体が事業内容を決定
- ・ SDGs・環境問題に関する講演や意見交換、環境保全活動等を実施

###### (4) 年間計画

5月頃 参加者募集

8月頃 事業実施

###### (5) 期待される成果

- ・ 持続可能な社会づくりの重要性を理解し、グローバルな視点で地域の環境保全活動をリードできる人材の育成が期待される。
- ・ 事業を通じて、ともに環境問題に取り組んでいこうとする連帯感が生まれ、国際的なネットワークの構築が期待される。

###### (6) その他

北東アジア地域における新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業を中止する可能性がある。

##### 3 参加自治体への協力要請事項

###### (1) 協力要請の内容

参加自治体内での参加者の募集、実施自治体への参加者の派遣

###### (2) 経費負担

- ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の内容

実施自治体への渡航費は参加自治体が負担する。

なお、事業実施地での滞在費やワークショップの開催費等については、実施自治体が負担する。

(3) 参加要請自治体

すべてのNEAR会員自治体ほか

## 【漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業】

### 1 趣旨、目的

海岸漂着物の調査活動に加え、環日本海地域の沿岸自治体での取組みも含めた発生抑制対策に関する学習会を実施することで、上流域から沿岸地域までの漂着物・ごみ問題についての理解を深め、子どもや地域住民の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育み、日常生活から始めることのできる発生抑制のための行動を促進する。

### 2 事業内容

子どもや市民の参加を得て、漂着物調査活動及び発生抑制対策に関する学習会を行う。また、可能な自治体においては、漂着物や家庭から出る廃材を利用したアート作品の制作を行う。

#### (1) 漂着物調査活動

##### ア 実施時期

2021年秋季

##### イ 実施場所

参加自治体の海・河川（内陸河川を除く。）の沿岸地域

##### ウ 実施方法

参加自治体が地元の小中高等学校、民間団体等の参加を得て、調査活動と学習会を実施（内陸部の自治体は清掃活動と学習会を実施）

実施結果は富山県（NPEC）が取りまとめ

##### エ 年間計画

5月 参加自治体の募集

9月～11月 調査の実施

12月～ 富山県への報告

#### (2) 漂着物アート制作

##### ア 実施時期

通年

##### イ 実施場所

参加自治体内の会場等

##### ウ 実施方法

富山県が提供する手引書等も参考にして、参加自治体が地元の実状に応じて、学生、住民等の参加を得て実施

##### エ 年間計画

5月 参加自治体の募集

7月～11月 アート制作の実施

12月～ 富山県への報告

#### (3) 期待される成果

「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むとともに、住民の環境保全に対する意識を高揚する。

### 3 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

##### ア 漂着物調査活動

- ・ 実施場所の選定

- ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の確保
- ・ 学習会・調査活動を実施する民間団体等の指導、学習会・調査活動の実施
- ・ 実施結果の富山県への報告

イ 漂着物アート制作

- ・ 活動の企画、関係者との調整、参加者の募集等
- ・ 漂着物等の素材、活動に使用する道具等の準備
- ・ 住民等の参加による活動の実施、結果の取りまとめと報告

(2) 経費負担

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の内容

① 漂着物調査活動

必要な経費は参加自治体による負担とする。ただし、巻尺、ピンセット、はかりなど調査に必要な機材の購入代や、移動に伴うガソリン代、写真現像代などの経費の一部を富山県が予算の範囲内で負担する予定である。

② 漂着物アート制作

必要な経費は参加自治体による負担とする。

(3) 参加要請自治体

中 国：遼寧省、河北省、山東省、江蘇省

日 本：北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県、福井県、京都府、  
兵庫県、鳥取県、島根県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

韓 国：江原道、忠清南道、慶尚南道

ロシア：沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

※ 漂着物調査活動については、NEAR会員自治体以外の北東アジア地域の沿岸自治体に広く参加を呼びかける。

## 【北東アジア地域環境ポスター展】

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の次代を担う子どもたちから「環境の保全」をテーマとしたポスターを募集し、優秀な作品を展示することにより、北東アジア地域における市民の環境保全意識を一層高める機会とする。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2021年6月初旬

#### (2) 実施場所

忠清南道

#### (3) 実施方法

- ・ 参加自治体が当該自治体内の子どもたち(小中高生)から作品を募集、審査し、優秀作品を選定
- ・ 参加自治体が優秀作品を開催自治体(忠清南道)に送付
- ・ 開催自治体がポスター展を開催し、参加自治体の作品展示、普及啓発を実施

#### (4) 年間計画

3月～5月上旬 作品の募集、参加自治体から開催自治体への作品の送付

6月初旬 ポスター展の開催(展示する作品数:30点以内)

8月～ 開催結果や展示作品のウェブサイト掲載

9月～10月 作品の返送等

#### (5) 期待される成果

北東アジア地域における市民の環境保全意識の向上が期待される。

### 3 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 参加自治体内で環境保全に関する作品を募集、審査し、優秀作品を選定
- ・ 優秀作品を開催自治体に送付(5点以内。作品のタイトル、作者のメッセージ等をあわせて連絡)
- ※ 2021年に募集した作品を送付できない場合は、2020年に募集した作品で構わない。
- ・ 優秀作品を電子化し、開催自治体に送付(作品の返送の可否をあわせて連絡)

<参考:開催自治体で実施すること>

- ・ 参加自治体への開催通知、優秀作品の送付依頼
- ・ 開催自治体内での作品募集、審査
- ・ 参加自治体から送付された優秀作品でのポスター展開催、普及啓発の実施
- ・ 希望する参加自治体への作品返送

(2) 経費負担

ア 経費負担の有無

あり

イ 経費負担の内容

- ・ 参加自治体内での作品募集、審査に要する費用
- ・ 参加自治体から開催自治体への作品の送料

〔 <参考：開催自治体の経費負担> 〕

- ・ 開催自治体内での作品募集、審査に要する費用
- ・ ポスター展の周知に要する費用
- ・ ポスター展の運営に要する費用
- ・ 作品返送に要する費用

(3) 参加要請自治体

すべてのNEAR会員自治体ほか

## 【海岸生物調査】

### 1 趣旨、目的

北東アジア地域の海洋生物多様性の保全に向けて、各地域に生息する生物に関する情報の収集、指標生物の生息調査を実施する。本調査を通じて、市民・子どもたちに海の生物への興味を深めてもらい、環境保全・生物多様性保全の意識高揚を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

年1回程度

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸（多くの生物が生息する岩場や磯場が望ましい。）

#### (3) 実施方法

- ・ NPECが作成した調査マニュアルに基づいて実施し、参加自治体と結果を共有
- ・ 海の生物に関する知識を有する調査機関、NGO/NPOや専門家が主体となり、市民・子どもたちの参加のもと、海岸の生物を収集し、観察生物名・写真を記録
- ・ 地球温暖化や外来生物に係る指標生物の存在有無の確認
- ・ 調査結果は、NPECが取りまとめ、ウェブサイトを通じて情報発信

#### (4) 年間計画

2021年6月～7月	参加者の募集
7月～8月	調査の実施
11月頃	富山県へ実施結果を報告

#### (5) 期待される成果

- ・ 海岸に生息する海洋生物の北東アジア地域での分布状況の把握
- ・ 指標生物の生息範囲の把握
- ・ 海洋生物多様性、海洋環境の保全に対する意識の高揚

### 3 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 本調査を実施する調査機関、NGO/NPO又は専門家の選定
- ・ 調査機関との調査実施、結果報告に関する連絡調整

#### (2) 経費負担

経費負担なし（経費の掛からない範囲で実施）

#### (3) 参加要請自治体

内陸部の自治体を除くNEAR会員自治体ほか

## 【貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム】

### 1 趣旨、目的

青少年の沿岸環境教育体験を通じて、沿岸生態系ブルーカーボンの重要性を認識するとともに、沿岸の生態系保全の重要性を改めて認識するなど、環境教育を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2021年6月～12月（約7か月間）

#### (2) 実施場所

参加自治体の海岸など

#### (3) 実施方法

① カキなどの稚貝を放流（飼養）し、ある程度成貝になってから採取して、その成長を確認（放流時、実施期間中、採取時に計測）し、炭素固定量を調査

② 成貝になるまでに水中の炭素が体の中に貯蔵されていく炭素固定過程等を学習

<学習例>

- ・ 貝類の水質浄化機能学習
- ・ 採取した貝の料理・試食体験  
（炭素循環<飼養（生産）→ 採取（漁獲）→ 飲食（消費）>に関する学習）
- ・ 貝塚や貝塚博物館の見学  
（貝塚等を教材にして、ブルーカーボンの概念を理解）
- ・ ブルーカーボンに関するテキストの作成・配布

#### ③ 結果報告

#### (4) 年間計画

参加自治体の状況に応じて、稚貝の放流（飼養）、炭素固定量調査、環境教室等を実施する。

#### 【稚貝を放流する場合のスケジュール例】

7月頃まで 稚貝の放流（飼養）を開始

11月頃まで 炭素固定量（貝の成長具合）の調査、炭素固定過程等の学習

12月頃 結果報告

#### (5) 期待される成果

- ・ 気候変動及び海洋環境保全に対する理解の増進
- ・ ブルーカーボンの認識向上、環境教育へのブルーカーボンの積極的活用
- ・ 貝類の成分、含有量などのデータを分析し、次期の二酸化炭素の低減政策策定（忠清南道）の基礎資料として活用（活用できれば、他の自治体の参考事例になりうる。）



<稚貝を放流(左)した後、成貝を採取(右)>



<カキによる水質浄化機能実験>



<採取した貝類を美味しく料理し、試食>



<先史時代の貝塚(ブルーカーボン貯蔵)見学>



### 3 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

- ・ 参加自治体内でのプログラムの企画、関係者との調整、参加者の募集等
- ・ プログラムの実施
- ・ 実施結果の報告

#### (2) 経費負担

ア 経費負担の有無  
あり

イ 経費負担の内容

現場調査費用及び体験キット購入費用など

#### (3) 参加要請自治体

一部のNEAR会員自治体（海に面している自治体）

## 【フォトコンテスト「Eco-selfie - 自撮りで環境保護」】

### 1 趣旨、目的

環境保護に関するフォトコンテストの実施を通じて、環境保護活動へ市民の参加を促し、環境保護文化を形成する。

### 2 事業内容

#### (1) 実施時期

2021年6月～12月

#### (2) 実施場所

トムスク州

#### (3) 実施方法

##### ① 参加自治体において環境保護に関する写真を募集

###### ○ 環境保護に関する写真

- ・ 植林行動や清掃活動等を実施している写真、きれいな水環境を撮影した写真など

###### ○ 写真の仕様

- ・ JPG、JPEG形式の自撮り写真の電子版（自撮り写真に限る。）
- ・ フレーム追加などの加工、デジタル画像修正、コンピュータを使って作成したコラージュなどの写真は対象外

###### ○ 募集の区分

- ・ 未就学児（保護者等と一緒に撮影など）
- ・ 児童・生徒（小学生、中学生、高校生）
- ・ 学生（大学生、短大生、専門学校生）
- ・ 一般

##### ② 参加自治体が応募写真をトムスク州又はNPECに送付

##### ③ トムスク州が写真の構成、オリジナリティ、環境保護活動の内容等の観点で写真の審査を行い、優れたものを表彰

##### ④ トムスク州が優秀者の賞状・賞品、参加者全員の参加証明書の電子ファイルを参加自治体に送付

##### ⑤ 参加自治体が賞状・賞品や参加証明書を該当者に送付

##### ⑥ トムスク州がSNSで優秀作品を紹介

#### (4) 年間計画

6月～10月 参加自治体での写真の募集、トムスク州での写真の受取り

11月 写真の審査

12月 賞品等の送付、SNSでの優秀作品の掲載

#### (5) 期待される成果

市民の環境保護活動への積極的な参加が期待される。

### 3 参加自治体への協力要請事項

#### (1) 協力要請の内容

参加自治体内での作品募集、トムスク州への作品の送付（電子メール）、被表彰者への賞品等の送付など

#### (2) 経費負担

##### ア 経費負担の有無

あり

##### イ 経費負担の内容

- ・ 参加自治体内での作品募集に要する経費

- ・ 参加自治体から被表彰者への賞品等の送料
- (3) 参加要請自治体  
すべてのNEAR会員自治体ほか

(3) 個別プロジェクトへの参加意向 (◎：提案自治体 ○：参加意向自治体)

プロジェクト		環境活動 リーダー	漂着物 <sup>※2</sup>	ポスター展	海岸生物 調査	ブルー カーボン	フォト コンテスト
自治体 <sup>※1</sup>							
中国	山西省	○	—	—	—	—	—
	遼寧省	○	—	—	—	—	—
日本	富山県	◎	◎	○	◎	○	○
	石川県	—	○S	—	—	—	—
	福井県	—	○	—	○	—	—
	京都府	—	○S	—	—	—	—
	鳥取県	—	○S	—	○	—	—
	島根県	—	○S	—	—	—	—
	山口県	—	○S	—	—	—	—
	佐賀県	—	○S	—	—	—	—
	長崎県	—	○S	—	—	—	—
韓国	江原道	○	○S	○	—	—	○
	忠清南道	○	○S	◎	—	◎	○
	慶尚南道	○	○S	—	—	—	—
モンゴル	バヤンホンゴル県	—	—	○	—	—	○
	ドンドゴビ県	—	—	○	—	—	○
ロシア	沿海地方	○	○	○	○	○	○
	ハバロフスク地方	○	○	○	○	○	○
	トムスク州	○	—	○	—	—	◎
	アムール州	—	—	—	—	—	○
	サハリン州	○	○	○	○	—	○
	ケメロヴォ州	—	—	—	—	—	○
参加意向自治体数		4か国 10自治体	3か国 15自治体	4か国 9自治体	2か国 6自治体	3か国 4自治体	4か国 11自治体

※1 下線の自治体：NEARの非会員自治体

※2 ○S：漂着物調査活動と漂着物アート制作のうち前者のみ実施

### 3 次期コーディネート自治体就任希望調査の結果

2019年7月から富山県がNEAR環境分科委員会のコーディネート自治体を務めてきたが、その任期が2021年7月に満了する。このため、次期コーディネート自治体就任希望調査を実施したところ、次期コーディネート自治体への就任を希望した自治体は、富山県のみであった。

### 4 環境分科委員会の活動計画（2021年）

年月	内容
適宜実施	○提案自治体と参加意向自治体が個別プロジェクトの実施に向けて協議 ○合意があった場合、個別プロジェクトを実施
8月～	○コーディネート自治体が、2021年個別プロジェクトの実施状況及び2022年個別プロジェクトの提案について調査を実施し、結果を取りまとめ
秋	○第15回環境分科委員会の開催 (議題)・次期コーディネート自治体の選出 ・2021年個別プロジェクトの実施状況 ・2022年個別プロジェクトの提案状況 ・各自治体の環境施策に関する情報交換 等
冬	○コーディネート自治体が2022年個別プロジェクトへの参加意向調査を実施し、結果を取りまとめ